

事例レポート 1

世界に衝撃を与えた驚異の切削加工技術は CAM の干渉回避能力がカギだった

(株)大楨精機

(株)大楨精機(埼玉県朝霞市)はオートバイや自動車のレース向け部品、ロケットや防衛部品などの航空宇宙分野向けの部品を製造する。アルミやチタン、インコネルなどさまざまな材料や形状を効果的にCAMを活用し、5軸マシニングセンタ(MC)の加工能力を最大限に引き出して効率的に加工する体制を構築している。2020年に創業60年を迎えて先進技術を積極的に活かしさらなる高難度な加工に挑む。

会社概要

会社名 (株)大楨精機
所在地 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町 4-8-45
TEL 048-462-0832
設立 1980年
代表者 代表取締役 大町亮介
従業員数 40名
事業内容 二輪・四輪自動車用試作部品・レース部品・航空機試作部品、ロボット部品・試作開発サポート・各種治具製作・機械加工全般、DDS デザイン開発 (Daishin Design Studio)



写真1 120 kg のアルミニウムから削り出したモトクロス用の1/1ヘルメット(右)や自由曲面の高品位加工を示すサンプル

480万回再生されたアルミ製ヘルメットの 切削加工動画

企業の製品開発や研究などの分野が顧客の大楨精機では自社の加工技術を外部に公開しづらい。そこで複雑・精密形状の加工技術を示すサンプルの加工の様子を動画で撮影して公開することで、外部に情報発信を行っている。これまで60 kgのチタンから削り出した1.9 kgの王冠や画家、サルバートルダリの能面をジュラルミン(A7075)から削り出した造形物を製作するなど、いずれも高難度だけでなく、インパクトの高い切削品が生まれるまでの行程を撮影し、数分間の動画として公開。そのほとんどが数万から数十万の再生回数を誇る。なかでも480万回以上という再生回数を誇っているのが、5軸マシニングセンタ(MC)を使って120 kgのアルミニウムから削り出したモトクロス用の1/1ヘルメットサンプル(写真1)

である。動画のコメント欄には視聴者からの英語のコメントが並ぶ。

大町亮介社長(写真2)は「当社の名前は知らなくてもヘルメットを加工した動画の様子は海外でも知られているようです」と笑う。影響は大きく、他社では



写真2 大町亮介社長